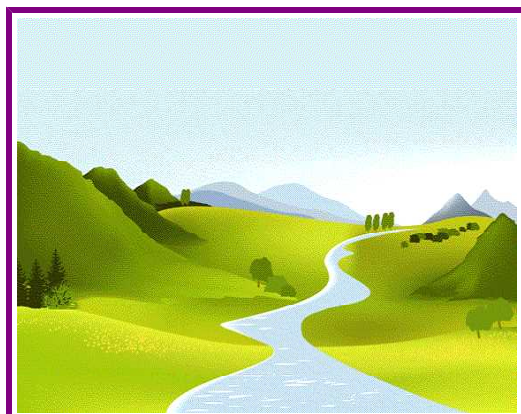


# めぐみイエス・キリスト教会

2020年8月16日(日)第三主日礼拝  
週報「通算第519号」



## 2020年標題聖句

第I テサロニケ5章16節～18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年8月16日 第三主日礼拝 午前10時

司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

### ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌254「心にあるこの安きを」 p. 394

【交読文】 No.58コリント人への手紙Ⅰ第15章 p. 926

【賛美Ⅱ】 新聖歌428「キリストには代えられません」p. 690

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美No.2「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】 使徒の働き4章1節～7節(2017新約p. 238下段)

【礼拝説教】 《ユダヤ最高議会において》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ●ポイント1.「サドカイ派」とは？

※使徒の働き23章6節～8節「パウロの裁判において」(新約p.283下段)

23:6 パウロは、彼らの一部がサドカイ人で、一部がパリサイ人であるのを見てとって、最高法院の中でこう叫んだ。「兄弟たち、私はパリサイ人です。パリサイ人の子です。私は死者の復活という望みのことで、さばきを受けているのです。」

23:7 パウロがこう言うと、パリサイ人とサドカイ人の間に論争が起こり、最高法院は二つに割れた。

23:8 サドカイ人は復活も御使いも霊もないと言い、パリサイ人はいずれ

も認めているからである。

■ **サドカイ派**(サドカイ人)は、エルサレムの神殿を中心とする祭司家系に連なる裕福な上流階級であった。彼らは宗教的指導者であると共に、政治的指導者でもあった。ユダヤ歴史家ヨセフォスの証言によれば、彼らは肉体のよみがえり、未来における罰と報い、御使いや霊の存在を拒否していたことは明らかである。サドカイ派はパリサイ人と違って「モーセ五書」に中心をおき、五書に記された律法にのみ最終権威を認めたので、そこに書かれていない復活論や、死後の生命のような教理を否定した。

### ● **ポイント2. 主イエスの言われた預言の成就とは？**

※ **マルコの福音書13章9節～11節「地方法院(議会)に」** (新約p.95下段)

13:9 「あなたがたは用心していなさい。人々はあなたがたを地方法院に引き渡します。あなたがたは、会堂で打ちたたかれ、私のために、総督たちや王たちの前に立たされます。そのようにして彼らに証しするのです。  
13:10 まず福音が、すべての民族に宣べ伝えられなければなりません。  
13:11 人々があなたがたを捕らえて引き渡すとき、何を話そうかと、前もって心配するのはやめなさい。ただ、そのときあなたがたに与えられることを話さなさい。話すのはあなたがたではなく、聖霊です。」

### ● **ポイント3. 「何の権威によって、誰の名によって」とは？**

※ **マタイの福音書28章18節 「権威とは？」** (新約p.64下段)

28:18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「私には天においても地においても、すべての権威が与えられています。」

※ **ヨハネの福音書16章23節～24節「名とは？」** (新約p.219上段)

16:23 「その日には、あなたがたは私に何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに言います。私の名によって父に求めるものは何でも、父はあなたがたに与えてくださいます。

16:24 今まで、あなたがたは、私の名によって何も求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けます。あなたがたの喜びが満ちあふれるようになるためです。」

## ◎先週のメッセージの概要【契約の子とは？】

《ヨハネと共に「ソロモンの回廊」にやって来たペテロは、集まって来たユダヤ人たちに語り始めました。「サムエルを始め、彼に続いて語った預言者たち」と言っていますが、ペテロはこの事を何時学んだのでしょうか。

主イエスが復活されたその日の夜、集まっていた十一使徒の前に突然、主イエスが現われて下さいました。主イエスは、「私がまだあなたがたと一緒にいた頃、あなたがたに話した言葉はこうです。私について、モーセの律法と預言者たちの書と詩篇に書いてある事はすべて成就しなければなりません。」と、聖書を悟らせる為に、教えられたその時なのです。

次に「あなたがたは預言者の子」とは、ユダヤ人は預言者に導かれて来た民族ですから、その語られた事に聞き従わなければならないと言う意味です。旧約時代において、神は預言者を通して語られました。

次に「契約の子」ですが、この契約は、十戒の事ではありません。ユダヤ人の父アブラハムと神様が成された契約のことを指しています。

『「私は全能の神である。私は、私の契約を、私とあなたとの間に立てる。あなたは多くの国民の父となる。あなたは、私の契約を守らなければならない。あなたがたの中の男子はみな、割礼を受けなさい。それが、私とあなたがたとの間の契約のしるしとなる。」』と書かれています。

割礼こそが契約のしるしであり、アブラハムの子孫であることを証明するものなのです。主イエスも「割礼」を八日目に受けられました。

『あなたの子孫によって、地のすべての民族は祝福を受けるようになる』

まさに主イエスを通して、この預言は成就することになります。主イエスは同胞ユダヤ人に救いをもたらす為に来られました。しかし彼らは、主イエスを拒否し、その救いは「異邦人」へと、もたらされて行く事になります。このおかげで、今の私たちに恵みが訪れました。私たちには、主イエスがいつも共にいて下さると言う約束が与えられています。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は、8月23日(日)教会にて行ないます。第二礼拝はありません。また、「聖書の学びと祈り会」は、毎週水曜日に各家庭にて行ないます。鈴木師は、8月17日(月)～18日(火)江古田の聖書キリスト教会です。